

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2019-103274 (P2019-103274A)  
【公開日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-024  
【出願番号】特願 2017-232671 (P2017-232671)  
【国際特許分類】

H 0 2 K 9/18 (2006.01)

H 0 2 K 5/20 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 9/18 A

H 0 2 K 5/20

【手続補正書】  
【提出日】令和 1 年 5 月 28 日 (2019.5.28)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】請求項 2  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【請求項 2】

前記間隙形成部は、それぞれが、前記積層構造の開口の径方向位置またはそれより径方向に外側の位置から、前記電磁鋼板の外周よりも径方向に外側の位置まで径方向に延びて周方向に互いに間隔をおいて配された複数の間隔片を有することを特徴とする請求項 1 に記載の回転電機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 3 6  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 3 6】

それぞれの間隔片 1 1 1 の径方向外側部分の第 1 の端部 1 1 1 a は、環状部 1 2 1 の環状部開口 1 2 1 a の縁部に接続されている。また、間隔片 1 1 1 の径方向内側部分の第 2 の端部 1 1 1 b は、電磁鋼板 2 2 の歯部 2 6 a が形成されている径方向位置またはそれより径方向外側位置にある。間隔片 1 1 1 は、第 2 の端部 1 1 1 b 側が、スロット部 2 5 a 側に突出しないような寸法に形成されている。

【手続補正 3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 4 3  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 4 3】

実線矢印 A 1 は、軸方向には間隙 2 4 の位置のある周角度位置で、空隙 1 8 側から固定子鉄心 2 1 側の互いに隣接する間隔片 1 1 1 の間に流入する流れを示す。破線矢印 A 2 は、互いに隣接する間隔片 1 1 1 の間を径方向外側の積層構造外側流路 4 0 b に向かって流れる流れを示す。破線矢印 A 2 の流れは、軸方向には互いに隣接する積層構造 2 3 の間であって、周方向には互いに隣接する間隔片 1 1 1 の間のほぼ矩形の断面形状で径方向外側に行くに従って周方向の幅が広がる流路内の流れである。